

根羽村教育委員会 令和8年1月定例会会議録

○ 会議日時 令和8年1月14日（水）午後3時30分

○ 会議場所 根羽村役場 第1、第2会議室

○ 出席者 教育長：柳瀬賢司、委員：片桐光代、小澤寛樹、石原八重子、
事務局：原田喜理子（子育て支援係長兼社会教育係長）、
中村睦子（社会教育係）
（欠席者 教育長職務代理者：石原久明）

1. 開会

2. 議事事項
なし

3. 協議事項

（1）業務量確保・健康確保措置実施計画について

（教育長）（資料に沿って説明）業務量確保、健康確保措置実施計画について、資料の中に公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令の制定等について記載があり、設置者である教育委員会が、法律に基づいて先生方が気持ちよく働けるような取り組みを実施して、業務量管理・健康確保措置実施計画を策定する必要がありますという内容になっています。中身については、雛形が記載されているのでご覧ください。本村の状況と今後の目標を記載します。業務三分類というものがあって、これは先生でなくてもできるもの、これは先生でなければいけないもの、これは地域に委ねられるものというような、19個の項目が中教審の方から示されているので、それについても検討して、できるところからその角度で見直してくださいという内容になっています。いつまでにどのように作っていくか簡単にお話すると、7年度までに作って、総合教育会議等で諮って策定します。8年度はそれに基づいて実効性のある取り組みとなるように学校を支援していきます。根羽村のものを私の方で作成してみまして、先日研修会の中で、作ったものを発表させていただきました。教育委員の皆様にも見ていただいてこの内容でよろしければ、来月総合教育会議があるので、村長に出席いただいて、承諾が得られれば、来年度の4月1日から実行していく予定です。校長先生にも見ていただいて、部分的に手直しをしていただいたり、情報を教えていただいています。まだ詰め切れていないところは、また学校と相談しながら進めていく予定ですので、見ていただいて、分かりづらいところなどがあったらご意見いただきたいと思います。カッコ1の計画の趣旨ですが、根羽の子どもたちにとって、先生たちがゆとりを持てば授業の質が上がるといことです。残業時間については、目標としては、1ヶ月あたり40時間以下としています。忙しい時期とそうでない時期がありますので、1年間では30時間程度としています。80時間の

方たちは、仕事の中身の見直しをしてもらって仕事を分けたり、不要なものはやらないということをしていく必要があります。そのように改善に取り組んでいきたいと思っています。ストレスチェックをしてメンタルの部分の健康を考えることも検討しています。計画は2年間に設定しています。学校以外の巡回業務として、登下校時の通学路の日常的な見回り活動というのが一番に入っていますが、これはあいさつ運動をやっていただいているのですが、登下校時の見回り支援が子どもの人数も少ないということがあって、なかなか日常的にやっていただくことが難しいので、地域ボランティアを募集することも検討したいと思っています。ほかに、放課後子ども教室で、安心安全な居場所を確保することや、教師以外にも積極的に参画する業務として、例えばホームページについてはすでに外部に委託して教師の業務を削減していますが、そのようなことを継続してやっていくほか、学校プールや体育館などの施設については、来年度も夏季休業中のプール開放を外部に委託することを考えています。それから、校内清掃については、地域のボランティアで清掃活動が行えるように考えています。例えば、トイレだけとか部分的に行えるように研究を進めていきます。部活動については、8年度の実施計画を載せていきたいと思っています。それから教師の業務だが、負担軽減を目指すべき業務として、特別な配慮が必要なお子さんについての支援に取り組む支援員の配置を引き続き行っていきたいと思っています。カッコ2はこの内容を学校の方でやっていただくということになります。カッコ3は教職員の健康などに対する取り組みですが、健康面で人間ドックに行ったり、長時間勤務の人はドクターに面接指導をしてもらおうということです。進捗管理について、今後どのようにやっていくか考える必要があります。勤務時間を正確に把握するのですとか、あるいは状況をホームページに公開したり、あるいは先生方にアンケートを採って、このような実施計画でよいのかどうかを確認してどうすればよいか考える必要があると思います。今までの説明に難しいところもあったと思いますが、教育委員会の中で話をしていきたいので、ご意見をいただければと思います。勤務時間について、朝は子どもたちが来るのを教室に迎えたいという先生もいらっしゃるのですが、それは悪くはないと思っています。私が前にいた学校では出勤時刻がとても早かったので、子どもたちを迎える時間ぐらいであればお願いするのも良いのかなという思いもあります。地域ボランティアの登下校の見守りは可能でしょうか。ボランティアがいなければ、例えば清掃もしていただいても有償にしても良いかなとも思っています。学校と関わり合いを持っていただいて、地域の方として授業にも参加してもらっても良いかなと思っています。

(委員) 確かに先生の代わりにできるような仕事も考える必要がありますよね。

(教育長) 校長先生にも相談していますが、例えばテストの丸付けとか先生たちの補助の仕事も良いかなと思っています。今度の総合教育会議でも提案させていただきます。ただ8年度から実施するので忙しいです。

(2) ふれあいタイムについて

(教育長) 先日、地域とのふれあいタイムということで学校の授業に参加していただきありがとうございました。感想、ご意見などをいただけるとありがたいのですが、いかがでしたでしょうか。

(委員) 保護者も入っていましたね。

(委員) 私は6年生の算数に参加しました。子どもたちとグループになって一緒に考え

る時間があつたのが良かったと思います。

(教育長) 学校からのペーパーに各自で感想を書きましたね。

(委員) いつも iPad を使ってやっていると思っていましたが、いつもメモだよって子どもが話していました。子どもがプリントの書き方を教えてくれました。黒板を見ながらプリントに書くことをずっとやっていたので、「どんな風を書くの」と聞きました。多分今日に合わせたのだと思いますが、「いつもは書かないけど、ちゃんと全部メモを取ってプリントの方に書いている」と教えてくれたので、それは一般の人が入ってきているから本人も少し緊張しながら授業に取り組んでいるのかなと思いました。発言はしっかりしていましたね。

(教育長) 私も授業のあとで他の先生と話しましたが、大人相手に分かるように説明をされると言いますか、やはり3、4人ですと、普段から一緒に授業を受けているので全員分かってしまうので、大人が入ることで、相手のことを思いながら話すコミュニケーション能力も必要だと感じました。グループで取り組むところは良かったですね。またぜひ次回もという話が出ています。

(教育長) 後期課程の数学はどうでしたか。

(委員) 数学は菱形の作図をしました。コンパスと定規だけで使って書きましようという内容でした。

(教育長) コンパスと定規だけで菱形を書くというのは面白い内容でしたね。先生方も安定していましたね。次回は1月30日を予定しております。校長先生から月に2回程度実施したいとお話がありました。読み聞かせとセットで読み聞かせの方々にも参加していただきたいと思っています。読み聞かせも一層推進していきたいですね。先生方の中には難しいと考える方もいるかもしれませんが、授業の様子などを共有していただいて、先生方の意欲を喚起できればと思っています。道徳の授業の中では、大人の考えが難しく子どもの考えとのギャップもあったようですが、そういう視点もあるということが子どもたちには斬新で良い経験になったと思います。良い取り組みになってきていますので、2月にも実施する予定です。参加範囲もまずは保護者などからだんだん広がって行って、村が掲げている「学びの村づくり」に繋がるように学校の敷居が低くなって地域の方々に参加できるようになればと思っています。

(3) 令和8年度海外研修について

(教育長) (資料に沿って説明) 来年度の海外研修ですが、内容は資料のとおりになります。実施日、目的地、参加者は今のところこのように予定しております。推進日程ですが、まずは11月に第1回の保護者説明会を開催して、実施日を決められたことがよかったですと思っています。これから半年ほどありますが、このような計画でやっていきたいと思っていますので、ご承知おきいただければと思います。2月4日に、第2回の保護者説明会を実施して、全体の説明と参加の申込を募ります。3月にはパスポートの申請、持ち物の確認など、業者にも参加してもらって第3回の説明会を実施したいと思っています。パスポートの申請が初めての方が多くて、場所も飯田市で大変だと思いますので、3月から5月の間に申請していただこうと思っています。その後は、第4回の保護者説明会の中で、日程等の確認を行います。事前学習はテーマごとにグループに分けて、事前学習発表会を実施したいと思っています。子どもたちにとって有益な研修になればと

思っています。前回の海外研修で一番良かったのは、現地の生の声を聞けたことだと思っています。企業を訪問して、そこで働いている日本の方から話をさせていただきましたし、マレーシアの高校、中学校に行って交流ができて、色々なことが勉強になりましたし、大学生と一緒に街中を散策して、市場などに行ったり、現地の物を食べたりしました。とても良い経験だったと思います。このような場所を今回も入れていきたいと思っています。

(委員) よろしいかと思えます。よろしくをお願いします。

(小澤寛樹、途中出席)

(教育長) 先に進めさせていただいておりました。先ほど、ふれあいタイムの感想を皆様からいただいたのですが、いかがでしたか。

(委員) 分かれば簡単な計算でしたが、子どもたちと一緒に悩んで答えを出すことが出来ました。大変良い経験をさせていただきました。また継続してできれば良いなと思っています。

(4) 地域の記憶伝承事業について

(教育長) 地域の記憶伝承事業について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) (資料に沿って説明) 令和7年度の地域の記憶伝承事業と片桐亀十氏のインタビュー収録についてですが、根羽村及び教育委員会では、令和7年度春から「地域の記憶伝承事業」に取り組んでいます。根羽村の歴史を次世代に残すため、村の歴史民俗研究を推進してきた片桐亀十氏の記憶を動画で収録し、根羽村と近隣町村のこと、中馬街道、木地師、根羽村の祭りなどを収録しました。亀十氏以外の村の方からも根羽村の歴史民俗文化の話聞いています。インタビュー動画は約1時間の動画にまとめ、村内外への公開配信を行う予定です。また、資料をデジタル保存し、広く活用できるよう、デジタルアーカイブにも取り組んでいます。YouTube や SNS での改ざんや目的外の利用・流出があるため、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスというデジタル制作物の著作権を付与します。著作権者の亀十氏を保護していくことを考え、その仕組みを学習中です。このケースをモデルに、民俗資料のデジタル保存を進め、資料活用できる手段を検討しています。作成したデータは、村内では児童生徒の地域学習、村外では民俗学を学ぶ学生や有志団体などの学習資料、また根羽村を改めて知ってもらうきっかけづくりに活用を考えており、改めて高齢者の記憶をつないでいけるものになりたいと思っています。成果物は年度末を目途に仕上げます。2月末に「小さな写真展～片桐亀十氏の語りによる～」(仮称)を開催し、収集した写真資料等を展示します。研究の様子をジオラマで展示、写真へのコメントの回収、見学者の参加型展示を行うことで村民の興味や関心を深め、インタビュー動画のダイジェスト版も放映予定です。

(教育長) 写真展は2月の福祉と健康の集いと重ねて、役場入り口に特設コーナーを設ける予定です。掛け値なしに村全体の財産になるような形でやっておりますので、ご理解ご協力をお願いします。今後、資料館をどうしたら良いのかも考えていかななくてはならないと思っております。

4. 報告連絡事項

(1) 調査研究委員会のまとめについて

(教育長) (資料に沿って説明) この件については資料をご確認ください。教育長、職務代理の会議の中で、今年度調査研究委員会で「新たな学びの創造を目指して」をテーマに研究を行い、他の市町村の TOCO-TON の取り組みをまとめてきました。飯田市は、全小中一貫で子どもと地域の未来を見据えた教育を進めています。飯田学園構想では緩やかに小中を学園というくくりでまとめることを考えていまして、地域でどのような学校を作るのかを検討する未来創造課を新設するそうです。総合的な学習の時間のうち 25 時間を使って小学校と中学校で、今までやってきた地域学習を発展させる探究的な学びを進めているそうです。高森町は豊かな自然を活かして保小中で連携し、保小中の長い期間で見て行こうと考えています。保小では先生たちが連携し、子どもたちが不登校にならないように学びを繋げていくことを研究しています。山保育も進めてダイナミックな活動をしているようです。売木村は、学校全体で一つの総合的な学習に取り組んでいて、学校全体でテーマをもとに考え、発表会をしています。学校改革が進んでいることが窺えます。平谷村はやってみたいことをかなえる、臨機応変にすぐに良い方法ができる小規模校の良さを活かして色々な取り組みを行っています。自由進度学習も行っています。また、休み時間はどうしたいか、給食をどうするかなど、地域の人を交えて、学校の在り方を考えています。泰阜小学校、泰阜中学校は隣同士の学校で、学校に美術館があり、泰阜学という特徴を持っています。泰阜学を中心に進めていて、美術館で子どもたちが新たな提案をしているそうです。他にはこんにやく作りなど食文化の体験をして、探究心を高めているそうです。総合的な学習の時間を子ども主体で動いていくのも良いですが、授業をどのように進めていくか探求していくのが難しいです。ルールを学校が決めるのではなく、子ども、保護者で決めていくというような、いかに地域に開かれた学校にしていくかが課題です。根羽も TOCO-TON の指定を受けて徐々に進めていきたいと思っています。

(委員) 自由進度学習は果たして良いのかなと感じています。

(教育長) 根羽学園でも 2 人位の先生がやっていて私も木曾の学校を見学に行ってきました。「これは自習」と言っている保護者もいるようです。

(委員) 私も学校で社会の時間にやっていて、これは自習じゃないかと思いました。どこで先生がフォローするのか、何を学んでいるのか、何を実践しているのか疑問に思う場面もありました。

(教育長) プリントをたくさん用意しておいたり、子どもたちが自分のペースで自分の学びたいところからやっていくから、1人でやって、分からない所は先生に聞いているので、子どもたちの関わりが少ないです。賛否両論があります。これが受け入れられるには時間が掛かります。二つやりたいことを選ぶ子どももいるので、先生は準備に時間が掛かります。教材を作ったりプリントを作る必要があります。今、根羽でも研究しています。先生たちが自由進度学習をやる気持ちにならないと広まりません。学校全体で取り組まないと子どもたちの成長が分かりません。友達同士が関わることで充実感は得られますが、協働してやっているとは出来なくてもそのまま進んでいってしまうので、個別最適が大事だと感じています。自分のペースで自分に合った学びをすることが大事だと思います。

(委員) 個別最適と言っても、やらない子はやらないのではないですか。

(教育長) 意欲が無いということですか。

(委員) 特殊な勉強方法ですし、能力的に難しい子も出てくると思います。

(教育長) できる子はどんどん伸ばしたい。どんどん工夫をして、プリントをたくさんやったり、難しい問題をやってきたり。でもできない子には難しい。そこをどのように調整していくのかが悩ましいと思います。理科、数学は比較的やりやすいかもしれませんが、国語や社会は意見を戦わせる必要があると思います。

(委員) 社会は調べ学習は出来ますが、調べただけでは駄目ですか。

(教育長) 調べたことを知識に結びつけて結論を出したり、自分の考えを論理的に話したりしなくてはいけないと思います。協働的になっていかないと弱いですね。そうなるともう少し協働学習の中でやった方がやりやすいと思っています。どこに重点を置くか TOCO-TON のあと 2 年の中で考えていきたいと思っています。このようにやっておりますので、ご承知おきください。

(2) 根羽学園、保育所の様子について

(教育長) (資料に沿って説明) 根羽学園ですが、年末年始をはさみ、大きな事故や怪我はなく、今年のスタートを切っています。先ほどの地域参加授業以外に、朝の合同学活を週 3 回程度行って、軌道に乗り始めているようです。基本子どもに委ねますがしっかり振り返ることを大切に今後とも継続していきます。

(気になる子どもの姿、非公開)

(3) 演奏会後援依頼について

(教育長) (資料に沿って説明) 教育活動に対する後援ということで、依頼がきております。飯伊地区の音楽科の先生がノウハウを共有して演奏会を開催するそうです。入場料は大人は一人 500 円だそうです。自己の成長もありますし、地域にアピールもできる活動だと思っています。特段問題はないものだと思っておりますので、教育委員会として後援してもよろしいでしょうか。

(出席委員全員反対なし)

5. その他について

(1) その他について

(教育長) 今後、コミュニティスクールや資料館、社会教育施設の整備など、あるいは村の教育と学びの場作り、仕組み作りの方向性について、大学の先生などの有識者と検討会を開くことを考えています。ご承知おきください。コミュニティスクールは、中央公民館的な組織があれば機能しやすいのではないかと感じています。そのような場所を作っていければと思っています。

(教育長) 他に全体を通して何かございますか。

(出席委員全員なし)

(教育長) 最後に 12 月分の会議録の署名をお願いします。

(12 月定例会出席委員が内容を確認し、署名)

(2) 総合教育会議開催日 2月16日(月)午後3時30分

6. 閉会
午後5時10分閉会

教育長・教育委員 署名